

公益社団法人いわき青年会議所 2024年度 総務拡大委員会 アクションプラン	
委員会名：総務拡大委員会	ver8
担当副理事長：鈴木 孝始	
担当常任理事：草野 祐介	委員長：中川 優寛
(委員会設置背景)	
① 総務 現在、JCIいわきは若返りの時期を迎え、未来に希望を見出すチャンスの時期を迎えています。 しかし、急速な若返りによる一時的な組織力の低下が懸念されるところであり、われわれの運動を展開する力も弱まってしまう。 JCIいわきがこのチャンスの時期を前向きに捉え、ひと・まちづくりの運動を未来に繋いでいくためには、次代を担う若手の育成と組織力の維持を共立させなければなりません。そのため、円滑な組織運営を行う組織の引き立て役となる委員会を設置する必要があります。	
② 拡大 JCIいわきの会員数は年々減少傾向にあります。本年度から数年の間は卒業会員数が少なく規模感を回復させるチャンスの時期を迎えています。 しかし、本年度はJCの理念に深く共感していたメンバーが数多く卒業することで組織全体としての理念への理解度低下が懸念されるところであり、われわれの理念共感の輪を広げていく力も弱まってしまう。 JCIいわきが今まで通りのスケールメリットを活かした運動を展開し、理念共感の輪を広げていくためには、共通の志を持った新たな仲間を発掘し増員し続けなければなりません。 そして、新たな仲間となった新入会員がJCの理念に共感し組織に定着できるよう計らうと共に、彼らの成長を促す委員会を設置する必要があります。	
(委員会運営方針)	
①年間を通したスムーズな組織運営を行う為に、各委員会・事務局と連携し各会議体や事業の運営に対して補助を行う ②組織として、ひと・まちづくりの運動を展開していく為に、各関係団体との連携を取り合える関係の構築を行う ③JCIいわきの組織力を強化していく為に、参加意欲が高い新入会員の拡大に努め、外部や理事役員、各委員会より拡大情報の収集及び精査、共有を行う ④メンバー同士、共通した志を持って活動していく為に、新入会員オリエンテーションや既存会員を含めたメンバーに向けて、JCの理念の共有を行う	
(事業内容)	
■ (事業名 公益社団法人いわき青年会議所2024年度会員拡大計画)	事業区分：なし
1) 実施に至る背景：JCIいわきでは会員数の減少が続いています。本年度は、JCの理念に深く共感していた経験豊富な会員が多く卒業を迎えることもあり、この流れが加速する恐れがあります。今後の組織力強化のため、会員同士でJCの理念を共有し、周りにも共感を広げていく必要があります。	
2) 目的：会員同士でJCの理念を共有し、周りにも共感を広げていくことで、共に成長し活動や運動を展開していく仲間を増やすことを目的とします。	
3) 事業内容：JCIいわきのOB・OG、各関係団体との交流や各会員の仕事・生活の中で出会う方々から入会に繋がる情報を収集します。また、入会後は会に定着するようにアフターフォローを細かく行い、懇親を深める場やJCを学ぶ場として新入会員オリエンテーションなどを開催します。 オリエンテーションは8月までの偶数月に計4回実施し、JCの理念を深く理解している経験豊富なメンバーをアドバイザーとして、JCの基本から歴史、理念等を学ぶ内容で開催します。	
4) 実施期間： 2024年1月～9月	
5) 予算：0円	
6) 目標値： 新規入会者：30名 入会候補者：40名以上 三役、常任理事：新規入会者2人/年 非理事役員：新規入会者2人/年 各委員長：入会候補者2名/年 各委員長：入会候補者3名/年 新入会員例会参加率：80%以上	
7) 得られる効果：OB・OG、各関係団体等より拡大情報を提供していただくことで新たな入会者を獲得し、新入会員にJCの理念や組織を理解してもらうことで、JCIいわきの中核を担う人材に成長させることができます。	
8) 実施する際のパートナー： いわき青年会議所OB会、その他OB・OG、各関係団体 日本青年会議所：組織グループ 福島ブロック協議会：組織連携推進会議	
■ (事業名 公益社団法人いわき青年会議所2024年度新年会開催計画)	事業区分：他 1
1) 実施に至る背景：JC運動はOB・OG、各関係団体にJCIいわきを理解していただき、引き続きご協力いただくことでより円滑に行うことができます。それは、われわれの活動への理解があってこそ、運動に繋がると考えるからです。本年度のJCIいわきの組織体制や運動方針を示し、理解を得た上で、より良好な関係を構築する必要があります。	
2) 目的： 対内ー現役会員が20周年最初の事業を、メンバーとともに盛大に創りあげることで、本年度のJC活動や運動の機運を高めることを目的とします。 対外ーOB・OGや各関係団体に本年度のJCIいわきの組織体制や運動方針を理解していただくことを目的とします。	
3) 事業内容：OB・OG、各関係団体の方々をお招きし、新年会を開催します。	
4) 実施期間： 2024年1月27日(土)	
5) 予算：350,000円	
6) 目標値： 対内アンケートより「本年度のJC活動や運動に対しての機運が高まった」：80%以上 対外ヒアリングより「組織体制や運動方針が理解できた」：ヒアリング回答者の80%以上	
7) 得られる効果： 対内：本年度のJC活動や運動の機運が高まったことで、未来に向けての発信力が高まります。 対外：本年度の組織体制や運動方針を理解していただくことで、引き続きご協力いただける関係となり、JC運動をより円滑に行うことができます。	
8) 実施する際のパートナー： いわき青年会議所OB会、その他OB・OG 各関係団体	
■ (事業名 公益社団法人いわき青年会議所2024年度7月例会開催計画)	事業区分：他 2
1) 実施に至る背景：地域社会の中核を担うわれわれの世代は日々様々な活動を行っているため、改めて「新しいことへ挑戦する」機会が創りにくくなっています。本来、われわれは青年としての勇氣と情熱をもって、日々「挑戦」を続けるべきだと考えます。われわれが引き続きで地域社会で運動を展開していくためには、会員一人ひとりが意欲的に「挑戦」する意識を醸成し、主体性をもった組織となる必要があります。	
2) 目的：会員に「新しいことへ挑戦する」気持ちを醸成していただくことで、一人ひとりが意欲的に活動する主体性をもった組織となるための布石とすることを目的とします。	
3) 事業内容：第一部は、講師のお話で「挑戦」についてを学び、新しいことに挑戦する機運を高め、第二部では、今まで挑戦したことのないスポーツを各自選択し、実際に挑戦することで「新しいことへ挑戦」する気持ちを養います。「新しいことへ挑戦」する気持ちを養うことで、今後の活動へ意欲的に、主体的に取り組めるような事業を開催します。	

4) 実施期間： 2024年7月
5) 予算：50,000円
6) 目標値： アンケートより「本例会を通じて、「新しいことへ挑戦」する気持ちを養うことができた」：できた80%以上
7) 得られる効果：会員に「新しいことへ挑戦する」気持ちを醸成していただくことで、一人ひとりが意欲的に活動することができ、主体性をもった組織となることができます。それがJC運動を支えるための組織力の強化に繋がります。
8) 実施する際のパートナー： 日々挑戦を続けている指導者の方

■（事業名 公益社団法人いわき青年会議所2024年度11月例会開催計画）	事業区分：他2
1）実施に至る背景：間もなく多くの卒業生を迎える中、組織力の強化には新入会員の活躍は不可欠です。しかし、新入会員や歴の浅い会員は既存会員との人間関係が希薄であるため、積極的にJC活動に参加しづらい傾向があります。会員同士の関係性を深めるため、交流の場を自ら創出する必要があります。	
2）目的：新たな人間関係が生まれることで結束力が高まり、組織力を向上させることを目的とします。	
3）事業内容：新入会員で例会内容を含め、企画し、運営してもらいます。	
4）実施期間： 2024年11月	
5）予算：50,000円	
6）目標値： 新入会員参加率：100% 既存会員参加率：80%	
7）得られる効果：この例会で得た成功体験や準備段階で高まった結束力は、今後のJC活動へさらに主体的に参加することを可能とし、同期の絆を強くします。また、既存会員にとっても、新たな人間関係が生まれることで結束力が高まり、組織力を向上させることができます。	
8）実施する際のパートナー： 無し	
■（事業名 公益社団法人いわき青年会議所入会パンフレット一新計画）	事業区分：他 1
1）実施に至る背景：現在使用している入会パンフレットは施行より過分に時が経過したことで、紹介されているメンバーのほとんどが卒業済みであったり、記載されている事業に目新しさを失っていたりと、老朽化が否めません。今後、JCIいわきに新たな仲間を迎え入れるためには、より新しい情報を示した上で、理念共感の輪を広げていく必要があります。	
2）目的：より新しい情報を提示し、われわれの運動を伝えることで、理念に共感した仲間を創ることを目的とします。	
3）事業内容：入会パンフレットの一新に当たり、旧パンフレットや他所のパンフレット、冊子などを調査研究して進めます。内容については、残りの在籍年数が長いメンバーの紹介や直近の事業の紹介、そして、本年度改定予定のグランドデザインを盛り込んだものと考えています。なお、新パンフレットはグランドデザインの改定スケジュールに則り、2025年度の拡大に向けて施行を考えています。	
4）実施期間： 2024年10月～	
5）予算：150,000円	
6）目標値： なし	
7）得られる効果：より新しい情報を提示し、われわれの運動を理解していただくことで、理念に共感した仲間を創ることができます。	
8）実施する際のパートナー： いわき青年会議所OB会 その他OB・OG	
■（事業名 公益社団法人いわき青年会議所2024年度卒業式開催計画）	事業区分：他 1
1）実施に至る背景：卒業に至るまで様々な困難を乗り越え、JCIいわきの発展に多大なる貢献をされてきた卒業生に長年の感謝の気持ちを表し、新たな旅立ちに向けて盛大に送り出す必要があります。	
2）目的：長年の感謝の気持ちを込めて、盛大に送り出すことを目的とします。	
3）事業内容：卒業式及び感謝ナイトの運営	
4）実施期間： 2024年12月	
5）予算：600,000円	
6）目標値： 出席した卒業生の満足度100%	
7）得られる効果：卒業生からの熱いJCに対する思いを受け継ぎ、今後のJC活動、運動に対する熱意を高める。	
8）実施する際のパートナー： いわき青年会議所OB会 その他OB・OG	

公益社団法人いわき青年会議所 2024年度 こども未来開拓委員会 アクションプラン			
委員会名：こども未来開拓委員会			
担当副理事長：熊田 哲也	担当常任理事：佐久間 順也	委員長：佐藤 亮介	ver6
(委員会設置背景)			
①情報通信技術が発達し利便性が高まる一方で、子どもたちを取り巻く社会環境は常に変化をしています。知りたい情報を苦勞せずに手に入れられる環境は、自分で物事を考える力を衰退させコミュニケーション能力の低下に繋がることが考えられます。様々な体験や経験を通じて、自主性を持ち創造力を養うことが将来のいわき市を担う人財の育成に繋がります。 ②いわき市は人口減少社会に突入し、特に若者の都市部への流出が課題となっております。その課題を改善するためには、地域の若者が自分が住まうまちに興味関心を持ち、自分のまちは自分たちで創るという当事者意識を高めていくことが、これからのいわき市の発展を担い地域を牽引する若者の創出に繋がります。 ③いわき市はプロスポーツチームの活躍といった、スポーツに関連する機運が高まりつつあります。市民の皆様がスポーツを通じて活躍できるプラットフォームを提供し続けることで、スポーツによる地域の活性化に繋がります。			
(委員会運営方針)			
①次代を担う子供たちが様々な視点から物事を考えられる人財となれるよう、古くからの手法・体験や現代とこれからの情報化社会を学ぶ機会を提供します。 ②今後、社会で活躍していく若者が、JCIいわきの会員と共に故郷いわきの現状、未来を考え、地域との架け橋になれる人財へと意識を変える機会を提供し、地域のリーダーへと成長するきっかけを作ります。 ③いわきには様々なスポーツ団体、公共施設がありプロスポーツチームも存在し、経済活動にも寄与しており、スポーツは地域活性化、青少年育成の一つの手段であると考えます。「すばマッチいわき」を通して子供達が交流する機会をより多く提供することを推進していきます。			
(事業内容)			
■ (事業名 2月例会)		事業区分：他2	
1) 実施に至る背景：いわき市を盛り上げていくためには、次代の若者たちが様々な機会を通して、いろいろな事に興味・関心を持ち、活発に活動していく必要があります。そのため、若者たちが活発に活動していくには何が必要かを考えていく必要があります。 2) 目的：いわき市を盛り上げるため、若者たちが活発に活動していくには、若者たちのモチベーションを高め、維持させる事が重要です。若者たちにやる気を与えるにはどうすれば良いかを学び実行していく事を目的とします。また、それを学ぶことにより、社業でも活かす事ができます。 3) 事業内容：JCIいわきの会員に対して、日頃から取り組んでいる仕事やJC活動においてのモチベーションの上げ方・保ち方を学び実行していく事業を行います。今後のJC活動だけでなく、社業にも活かせる内容を学んでいただきます。 4) 実施期間： 2024年2月13日 5) 予算：50,000円 6) 目標値： JCIメンバーへのアンケートで、日頃の取り組みについてのモチベーションの上げ方・保ち方の手段が理解できたという回答が90%以上 7) 得られる効果：JCIいわきのメンバーがモチベーションの上げ方・保ち方を理解することで、今後アクティブに活動していく人財が多くなります。また、人へのモチベーションの上げ方を学ぶことで、JC活動だけではなく、今後の社業にも活かすことができます。 8) 実施する際のパートナー： 日本青年会議所、福島ブロック協議会			
■ (青少年事業 6月例会)		事業区分：公2	
1) 実施に至る背景：現代の子どもたちは、インターネットやSNSに触れる機会が多く、実際に使いこなしています。その一方で、古くからの手法や体験に触れる機会が減少しており、自分で物事を考える力の低下が懸念されます。違った角度から物事を捉えられるようになり、子どもたちが自主性を持ち、創造力を養うことが重要です。そのために、古くからの手法を体験させてあげる必要があります。 2) 目的：【対外】子どもたちが古くからの手法・体験に触れることにより、様々な視点から物事を捉え、創造力を養うことを目的とします。 【対内】子どもたちと一緒に学ぶことにより、子どもたちが様々な視点から物事を捉え、創造力を養うことの重要性を理解することを目的とします。 3) 事業内容：子どもたちに対して、現代の先端技術と昔の手法・体験を知ってもらう事業を行います。AI技術が向上したことにより、昔からあった「遊び」や「学習」がどんどん進化していています。子どもたちには、AI技術を絡めた昔からの手法を体験してもらう事により、今までとは違った角度から物事を捉え、創造力を養っていただきます。また、大人に対しては、子どもたちが様々な経験や体験をすることにより、創造力を養うことの重要性を発信します。 4) 実施期間： 6月 5) 予算：1,200,000円（内、いわき市明日をひらく人づくり事業補助金：500,000円） 6) 目標値： 参加者100人。参加者及び保護者へのアンケートを実施し、自ら考え、創造していく力の重要性を理解したという回答が90%以上 7) 得られる効果：子どもたちが先端の技術と古くからの手法・体験に触れ、様々な視点から物事を考えられる力を身につけることで、今後の子どもたちの成長へと繋がります。さらに大人たちが、自ら考え、想像していく力が重要だと理解することで、より子どもたちが様々な体験をするきっかけに繋がります。 8) 実施する際のパートナー： いわき市、いわき市教育委員会、いわき市民、市内小学校			
■ (青少年事業 10月例会)		事業区分：公2	
1) 実施に至る背景：現在、地方から首都圏への人口流出が進む中、いわき市でも若者の転出超過に歯止めをかけられない状況です。そんな中で、地域の未来を創る若者を巻き込み、若者たちの意識を地元に向けさせ、「住み続けたいまち、帰りたくなるまち」を創造していく必要があります。 2) 目的：地域の未来を創る若者たちに、「住み続けたいまち、帰りたくなるまち」とは何か、そして、まちづくりの重要性を考えてもらうことにより、よりよい地域をつくっていく人財の育成を目的とします。 3) 事業内容：いわき市の中学生・高校生といった、これからのまちづくりにおいて重要となる若者たちと、JCIいわきメンバー、いわき市の関係各所の方々とグループディスカッション等を行い、どうしたら地域がよくなるのかと一緒に考え、「住み続けたいまち、帰りたくなるまち」を考えていきます。23年度で総務研修委員会が行った「市長提言」を今年度も継続的に行っていきます。 4) 実施期間： 10月 5) 予算：200,000円（内、いわき市まち・未来創造支援事業補助金：100,000円） 6) 目標値： 参加者：地元の中学生20人、高校生20人 参加者へのアンケートを実施し、今後のいわき市に住んでみたい「はい」の回答が80%以上 7) 得られる効果：中高生と一緒に「まちづくり」について考えていくことにより、地元に対しての興味・関心へと繋がります。また、「まちづくり」の重要性を知ってもらうことにより、地域発展への意識の醸成へも繋がります。 8) 実施する際のパートナー： 福島県、いわき市、福島県教育委員会、いわき市教育委員会、いわき市民、市内中学校・高校			

1）実施に至る背景：公共施設の新たな質的価値を見出すことを目的に、スポーツマッチングサイト「スポまっちいわき」を2021年に開設しました。開設から3年がたち登録チーム数や利用者が増えてきております。引き続き利用促進を促し、子供達が交流する場を提供し続けるためにも登録団体数を維持していく必要があります。

2）目的：【対外】市民の皆様にはスポーツ団体のポータルサイトとして活用いただくことで地域益、子供達が活発に交流することで、青少年の健全な育成につなげることを目的とします。【対内】当サイトを推進する意義を会員が理解し、推進事業をより円滑に行うことを目的とします。

3）事業内容：サイトへの登録と利用を促進します。推進活動をするためにJCIいわき公式HPやSNSにて広報を実施します。

4）実施期間： 2024年3月～9月

5）予算：22,000円

6）目標値： サイト登録団体及びチーム数10件

7）得られる効果：公共施設の利用頻度の向上が地域資源の利活用に繋がり、さらなる地域益の増進につながります。

8）実施する際のパートナー： スポーツによる人・まちづくり推進協議会、いわき市、いわき市体育協会、いわき商工会議所

公益社団法人いわき青年会議所 2024年度 ALL IWAKI委員会 アクションプラン	
委員会名：ALL IWAKI委員会	
担当副理事長：本多 史明	担当常任理事：大和田 勝史
委員長：小笠原 慶	
ver 9	
(委員会設置背景)	
①いわき市では人口減少に伴う地域社会の衰退が進む中、共創のまちとして存続していくために、多くの市民の方々の共感を得て、まちの魅力を再確認し、まちづくりに積極的に参加する市民の方々の増やしていく必要があります。 ②いわき市はこれまで様々な災害を経験してきました。災害に強いまちづくりに繋げていくためには、有事の際に機動的かつ効果的に行動できるよう行政や関係諸団体とより強固な連携体制を整える必要があります。これまで 得た知識や経験を行政や関係諸団体と共有、意見を交換しながら、防災・減災の知識をさらに深め、率先して行動できる組織にする必要があります。	
(委員会運営方針)	
①志を同じくする団体との連携を深め、いわきに暮らす人々のまちづくりに参加しとなるシンボルの発展に繋がるまちづくりを目指します。 ②支援関係にある団体と協力を深め、災害に対し、これまでの災害の経験を活かし、利他の精神で行動を起こせる組織運営を目指します。	
(事業内容)	
■ 2024年度3月例会 ： 最先端技術とともに災害を考える！3月例会	
事業区分：他 2	
1）実施に至る背景：起こりうる災害に対し、前年度の運動を引継ぎ、防災・減災の組織力、協力体制のさらなる向上がJCIいわきの課題です。そのため、防災・減災の理解を高め、災害時に能動的な行動を起こす意識を高める必要があります。 2）目的：防災・減災に対する理解、意識を高め、災害の際に、支援団体と協力し、必要な行動、支援ができる人財となることを目的とします。. 3）事業内容：第一部では、最先端の実用的な防災用品について実際に会員が体験し、第二部では、様々な災害時を想定し、防災用品を用いて災害が起きた時どのように行動するかディスカッションを行い、発表を行うことで、支援団体と協力できる関係をつくり、防災への意識を高めます。 4）実施期間： 2024年3月 5）予算：50,000円 6）目標値： アンケート「支援団体と協力し、必要な行動、支援ができる人財になりましたか」の問いに対し、「なれた」以上が100% 7）得られる効果：最先端技術を用いた防災・減災の知識を高め、有事の際に、支援団体と協力し合える関係を築くことで、メンバーが支援団体とともに災害に主体的な行動を起こすことができます。 8）実施する際のパートナー： いわき市危機管理部・いわき市社会福祉協議会	
■ 第4回イルミエールいわき	
事業区分：公1	
1）実施に至る背景：まちづくりの活動に参加していない市民が多いことから、いわき市民のまちづくりへの興味関心が低いことが課題です。そのため、いわき市民が積極的にまちづくりに興味を持ち、新しい魅力に気づいてもらうために、まちのシンボルを発展させる必要があります。 2）対外目的：まちのシンボルの発展を通じ、まちづくりへの興味関心を高め、いわき市民が今後のまちづくりの活動に参加するまちにすることを目的とします。 対内目的：まちづくりの運動を通じ、能動的にJC運動を行うことで、地域に対してリーダーシップを発揮できる人財となることを目的とします。 3）事業内容：副事業：まちを活性化させるために、これまで以上にいわきで暮らす人々の協力を得ながら、イルミエールいわきを発展させます。2023年に連携した団体と、より関係性を強化し、各地域にいわきで暮らす人々が参画できる仕組みをつくるとともに、新しい魅力として、いわきの未来を担う多くの学生と交流したまちづくり事業を展開します。広報活動では、昨年度の引継ぎや費用対効果を考慮しながらいわきで暮らす人々に向けてイルミエールいわきを大きく発信します。副事業では食のイベントを開催し、地域間と世代を越えた交流を生み出す機会を創ります。また、地域飲食店と関係性を深めながらイルミエールをさらに発展させることで、この事業がいわきで暮らす人々のまちづくりへの興味関心を高め、地域の活性化に繋がります。 4）実施期間：2024年11月下旬～2025年1月上旬 5）予算：開催要項 50,000円 広報 550,000円 設置計画 6,000,000円 点灯式・副事業 3,400,000円 (内訳 LOM拠出：100,000円 協賛金：5,100,000円 補助金：4,800,000円 補助金名：福島県地域創生総合支援事業) 6）目標値： 対外：アンケート「これからまちづくり活動に参加しますか。」の問いに対し、「参加します」80% 対内：アンケート「能動的にまちづくり運動を起こせるまちのリーダーになりましたか。」の問いに対し、「なれました」以上80% 7）得られる効果：対外 まちづくり活動に参加する市民が増え、まちづくり運動が盛んになり、地域の活性化につながります。 対内 まちづくり事業を通じて、地域のひとと関わり、組織と地域を引っ張る人財が生まれ、JCIいわきの今後の組織運営につながります。 8）実施する際のパートナー： いわき市・市内高校・湯本温泉観光協会・内郷まちづくり市民会議・小名浜まちづくり市民会議 ・NPO法人いわきイルミネーションプロジェクトチーム・東日本旅客鉄道株式会社・泉商店会・勿来JCOB会・市内学生	
■ 2024年度災害組織図	
報告	
1）実施に至る背景：いつ起きるか予想のつかない災害に対し、支援団体と協力し、迅速かつ適切な対応がJCIいわきの課題です。そのため、有事の際に、迅速かつ適切な行動ができる組織が必要です。 2）目的：有事の際に、支援団体と協力し、迅速かつ適切な行動を取れる組織となることを目的とします。 3）事業内容：2024年度に運用できる災害組織図に更新します。3月の例会時に会員に対して、災害組織図を改めて周知し災害組織図の理解の醸成を図ります。災害組織図作成にあたって必要な物資、人的支援などを事前把握し、物資購入先や建設重機リース会社などより具体的に役割を記載することで、初動対応が迅速にできるよう工夫します。 4）実施期間： 2023年度12月中に決定、2024年度1月から12月 5）予算：0円 6）目標値： JCIいわきの会員全員が災害組織図の認知度100% 災害発生時における各部署での安否確認の実施100% 7）得られる効果：2024年度組織図に対応した災害組織図にアップデートすることで、各自が自分の役割を理解し、迅速な初動対応に繋げることが出来ます。また、協定先と災害時によりスムーズな連携を図ることが出来ます。	

公益社団法人いわき青年会議所 2024年度 20th Anniversary委員会 アクションプラン			
委員会名：20th Anniversary委員会		ver3	
担当副理事長： 長浜 靖明		担当常任理事： 小野 貴弘	委員長： 溝井 清弥
(委員会設置背景) ①今年JCIいわきは創立20周年を迎えます。この20年は、5JCの統合から始まり、東日本大震災及びそこからの復興、コロナ禍と激動の時代でした。そこで、この節目の年に、まずJCIいわきの過去の歴史を振り返り、組織のアイデンティティや組織として大切にしてきた価値観を再認識する必要があります。また、それを元に、時代や地域のニーズに合わせた今後のJCIいわきのビジョンを明確にする必要があります。 ②JCIいわきは、「我々の描く未来のいわき」を地域に発信することで、地域社会への貢献や、会員の成長とともに、更なる発展を遂げる必要があります。 (委員会運営方針) ①JCIいわきが地域社会から求められる組織になるために、中長期的な組織の経営（運営）戦略であるグランドデザインを策定し、推進していきます。 ②周年式典で「我々の描く未来のいわき」を内外に発信するために、JCIいわきの過去の歴史を再確認し、今後のJCIいわきのビジョン・方向性を明確にしていきます。 ③グランドデザインを元に事業を構築し、いわき市民へJCIいわきの中長期ビジョンを発信し、理解していただくための機会を提供します。			
(事業内容)			
■ 4月例会		事業区分：他2	
1）実施に至る背景：プログラミングは最先端技術の基礎であり、近年の学校教育にも組み込まれています。しかし、その教育レベルは他国と比べ、とても遅れており、日本国内においても教育者の不足などから地域格差が生まれています。多くの大人もプログラミングに関する知識や技術に乏しく、子供達や周りの人々へ教えることが出来ておりません。プログラミングは、コンピュータを理解し上手に活用していく力を身につけることができるとともに、論理的思考を培うことができ、国際的な競争力が求められる現代社会においては大人にも子供にも必須のスキルであると考えられます。そのため、JCIいわき会員が、まずプログラミングの重要性を理解し、あらためて最先端技術の重要性を理解することが必要です。 2）目的：JCIいわき会員が、最先端技術の基礎であるプログラミングの重要性を理解することで、最先端技術をこどもたちや地域社会に広めていくことができる人財になる事を目的といたします。 3）事業内容：前半は、講師から日本の科学教育の現状を講義して頂きます。後半に、講師のご指導のもと、プログラミングを学び体験してみます。 4）実施期間： 2024年4月12日 5）予算：50,000円 6）目標値： アンケートで「最先端技術の基礎であるプログラミングの重要性を理解する事が出来た」が80%以上 7）得られる効果：会員が、最先端技術の基礎であるプログラミングに触れ、重要性を理解することで、最先端技術をこどもたちや地域社会に広めるための足掛かりとなります。 8）実施する際のパートナー： e-kagaku国際科学教育協会			
■ グランドデザイン改定		事業区分：他1	
1）実施に至る背景：前回のグランドデザイン策定から5年がたち、時代も変化し、新たなものを策定する必要性が出てきました。地域社会は常に変化しており、JCIいわきに求められることを再確認し、それを元に、中長期計画を策定し、未来の目標・今後の組織の方向性を会員や地域社会に明確に示す必要があると考えます。 2）目的：時代に即した今後のJCIいわきの中長期的計画を策定し、それを会員に理解していただくことを目的と致します。 3）事業内容：JCIいわきの中長期計画であるグランドデザインを策定し、年間を通して会員に推進活動を行う。 4）実施期間： 2024年8月1日 5）予算：0円 6）目標値： 20周年記念式典典終了後のアンケートで「グランドデザインの内容を理解した」が80%以上 7）得られる効果：これからのJCIいわきの目標を明確にし、会員が理解することで地域社会のニーズにあった活動・運動を展開していくことが出来ます。また、JCIいわきのビジョンを地域社会に発信する際の指標となり、発信するための手助けとなります。 8）実施する際のパートナー： 理事長経験者			
■ 20周年式典		事業区分：他1	
1）実施に至る背景：JCIいわきは20周年を迎えます。今後も地域社会から理解される組織であるためには、まず、これまでご支援頂きたいわき青年会議所OB会や関係諸団体への感謝を示す必要があります。そして、現役会員がこれからのJCIいわきが目指す方針や取り組みを理解し、JCIいわきのこれまでの歩みとこれからのビジョンを広く発信する必要があると考えます。 2）対外目的：20周年記念式典を通して、関係諸団体への感謝と今後のJCIいわきの方針を理解して頂くことを目的といたします。 対内目的：20周年記念式典を通して、JCIいわきの方針を対外に発信することで、今後の活動や運動に向けて一致団結した組織になる事を目的といたします。 3）事業内容：20周年記念式典と祝賀会を開催、運営を行い、20周年記念誌を作成する。 4）実施期間： 2024年8月25日 5）予算：700,000円（寄付金700,000円） 6）目標値： 20週年記念式典で行われる対外・対内アンケートで「式典を通して、JCIいわきの今後の方針を大いに理解することができた」が80%以上。 7）得られる効果：今後のJCIいわきの活動方針をお伝えすることで、関係諸団体から理解が得られ、今後も変わらぬご支援を得ることが出来ます。また現役会員は中長期目標を理解し、多くの支援の中で活動していることを理解することで、より一層活動に励むことが出来ます。 8）実施する際のパートナー： いわき青年会議所OB会、旧5JC OB会および関係諸団体			
■ 20周年記念事業		事業区分：公2	
1）実施に至る背景：2023年度にグランドデザインを改定しますが、記念式典ではJC関係者や関係諸団体のみにしか発信することができません。多くのいわき市民や地域社会にグランドデザインを周知する場が必要であると考えます。 2）対外目的：いわき市民や地域社会にJCIいわきのグランドデザインを理解して頂く事を目的とします。 対内目的：JCIいわき会員が20周年記念事業を通して、グランドデザインを深く理解し、これからの未来に向けて自ら挑戦出来る人財になってもらう事を目的とします。 3）事業内容：グランドデザインに則った事業を行う予定です。 4）実施期間： 2023年9月21日			

5) 予算：300,000円（LOM拠出300,000円）
6) 目標値： 対外アンケートで「JCIいわきのグランドデザインについて理解することが出来た」が80%以上。
7) 得られる効果：JCIいわき会員がグランドデザインを理解することで、JCIいわきの進むべく目標に挑戦するための基礎が出来ます。また関係者団体から変わらぬご支援も頂くことで、様々な活動を行う事が出来ます。
8) 実施する際のパートナー： グランドデザインに則った事業を行う際の協力団体

公益社団法人いわき青年会議所 2024年度 事務局・財政局 アクションプラン			
委員会名：事務局・財政局		ver1.9	
専務理事：佐藤稔久		財政局長：松本進	事務局長：小野隆
(委員会設置背景)			
①我々JCIいわきは公益社団法人として、コンプライアンスの遵守及び透明性の高い財務体制を徹底し、適切な組織運営を図る必要があります。			
②在籍年数の長い経験豊富な会員の卒業が多く見込まれていることに加え、若い会員の増加により、今後、会員のJCの理念に対する理解の低下が懸念されます。持続的な組織を築き、組織力を強化していくためには、会員全体がその理解を深める必要があります。			
(委員会運営方針)			
①財政の適切な管理及びコンプライアンス遵守を徹底し、決算報告書や過去の議案、揭示等の会員に有益な情報を提供するなど、透明性の高い開かれた組織を構築します。			
②JCの理念に対する理解を深め、JC運動を展開していくために必要な学びの機会を提供することで、会員一人ひとりがJC運動や活動に、積極的に挑戦できる体制を構築します。			
(事業内容)			
■公益社団法人いわき青年会議所2024年度広報推進計画		事業区分：なし	
1) 実施に至る背景：JC運動を展開していくためには、いわき市民の皆様や地域の関係諸団体との信頼関係の構築が必要です。いわき市民の皆様や関係諸団体から我々の運動についての理解と共感を得るために、JCIいわきの運動や情報を広く周知すべく、継続的な情報発信を行う必要があります。			
2) 目的： (対外) JCIいわきの運動に関する情報を積極的に発信することで、いわき市民の皆様や関係諸団体からJC運動への理解と共感を得ることを目的とします。 (対内) 情報発信を通して、会員やいわき市民の皆様や関係諸団体に共感を与える行動を意識してもらうことを目的とします。			
3) 事業内容：各委員会と親密に連携することで、現在運用している公式サイトやSNSにより、定期的に、タイムリーなJCIいわきの情報や運動について情報発信します。また、市民の皆様と共感しあえる双方向コミュニケーションを模索していきます。			
4) 実施期間： 2024年1月～2024年12月			
5) 予算：0円			
6) 目標値： ・SNSの新規登録者数20%増（2023年10月29日現在 Twitter 1,757人 Instagram 747人 Facebook 1,808人） ・SNSの会員登録100% ・各SNSの反響(リプライ、リツイート、イイネなど)数、20件以上/投稿			
7) 得られる効果： (対外) 市民の皆様や関係諸団体の理解や共感を得ることで、今後の円滑な運動展開に繋がります。 (対内) 会員が共感を与える行動を意識することで、よりいわきの発展に寄与する事業構築に繋がります。			
8) 実施する際のパートナー：			
■適切な組織運営		事業区分：なし	
1) 実施に至る背景：我々JCIいわきという組織は、40歳で卒業という制度があり、毎年会員の入れ替わりがあるなかであっても、公益法人として地域からの信頼を得て、持続的なJC運動を展開していくために、会員一人ひとりが組織を理解し、適切な組織運営を行う必要があります。			
2) 目的： ①法令及び規則に沿った会の運営と透明性のある財務運営を行い、適切な組織運営を継続することを目的とします。 ②JCの理念、運動に対する理解を会員へ浸透させることで、適切な組織運営を継続することを目的とします。			
3) 事業内容： ①各種会議体での適切な運営を行い、事務局・財政局としては随時予算執行状況の確認を実施します。また、各種会議においては、オンライン会議ツール等を活用し、多くの会員が出席できるよう準備します。 ②1月に議案書セミナーを実施し、議案書の書き方を学びます。			
4) 実施期間： 2024年1月～2024年12月			
5) 予算：0円			
6) 目標値：			
7) 得られる効果：適切な組織運営を行うことで、地域からの信頼を得るとともに、会員の積極的なJC運動への参加が促され、会員の成長に繋がります。			
8) 実施する際のパートナー：			
■5月例会		事業区分：他 2	
1) 実施に至る背景：近年、まとまった会員の卒業や若い会員の入会による会員の入れ替わりが進む中で、会員のJCIいわきの運動に対する理解が浅い中であっても、事業を構築していかなければならない現状があります。我々JCIいわきはまちづくり団体として、社会に影響を与え、いわきの発展に寄与するために、会員全体が運動に対する理解を深め、今後どのような運動を展開して行くのか改めて考える機会が必要です。			
2) 目的：会員全員が論理的に事業を構築する力を養うことを目的とします。			
3) 事業内容：今後どのような運動を展開して行くのかを、会員全体で改めて考え、事業の企画立案、構築を実践的に研修できる機会を設けます。			
4) 実施期間： 2024年5月14日（火）			
5) 予算：50,000円			
6) 目標値： 会員80%以上の参加と、参加者アンケートで「事業に対する理解が深まった」と回答する方が80%以上			
7) 得られる効果：JC運動、活動に積極的に挑戦できる意識を醸成し、青年会議所の発展に貢献できる人財へと成長出来ます。			
8) 実施する際のパートナー：			